

町長と ざっくばらんな懇談会 話そう!

全内容は、町ホームページに掲載しています。



12月14日(土)〜20日(金)、各地区で「町長と話そう!〜ざっくばらんな懇談会〜」を行い、計259名の方が参加してくださいました。「幸せと絆を実感できるまち 東浦町について、多くの参加者の方々と語り合うことができました。」

いただいたご意見などは、関係する部署と共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。懇談会で話し合われた意見の一部を抜粋して紹介します。

12月14日(土)

藤江コミュニティセンター

参加者 町外の方にも興味を持ってもらえるよう、観光ルートの開拓をして欲しいです。

町長

東浦町が全国的な観光地を目指すのは難しいと思っています。町外に、自分たちの誇りとして東浦町を紹介し、住んでいて気持ちがいいと感じられるまちを目指していきたいです。

参加者

東浦町に引越し



てきた時、どのような方が住んでいるのか不安でしたが、少年野球で地域の方々にお世話になりました。まちは人が形成しています。まちに住む方々の得意を生かすことができる、まちになるといいと思います。

町長

福祉関連の部署では、人とのつながりを重視した、支えあいの仕組みづくりに取り組んでいるところです。

12月14日(土)

生路コミュニティセンター

参加者 砂場のある公園を増やしてほしいです。

町長

近年は、すべり台やブランコなどの遊び方が定まっている遊具が多く設置されています。砂場は、管理が大変というデメリットがあります。しかし砂場には自由度があり、子ども

が遊びの中で成長していく余地があると思います。

参加者

生路地区は、商店街が少ないです。

町長

東浦町は、人口減少・高齢社会が進行する中、鉄道など公共交通を活かし、自動車に依存しなくても買物や福祉にアクセスできる、コンパクトシティを目指しています。歩いて暮らせるまちには、八百屋や魚屋などの商店が欠かせません。昔からの商店を続けていくにはどうしたらいいか、また、行政として何ができるのかを考えていきたいです。日本では、事業承継を親族で行う風潮がありますが、生路地区のぶどう農家では、町外から来た方が事業を継いだそうで、いい例だと思います。



12月16日(日)

緒川コミュニティセンター

参加者 JR緒川駅の高架下のスペースを活用し、キッチンカーやテントの居酒屋を招いてはどうでしょうか。

町長

JR緒川駅にエレベーターができるため、そのタイミングでにぎわいを作ることができたらと思っています。先日、於大公園のワークショップの中で出た意見を実現し、「於大公園へ泊まるう」というイベントを行い、大盛況でした。施設に様々なアイデアを持ち込むことで、多様な使い方ができると発見しました。皆さまのアイデアを実現させることは、大切なことだと思います。



参加者

ごみステーションのパトロールを行っているのですが、ごみ出しのルール

を守っていない方が見受けられます。「この現状を町でも把握してほしい」と思います。

町長 とうしたら皆さんがルールを守ってくれるのか、皆さんと一緒に新しい方法を考えていきたいと思っています。緒川地区では、放置された犬のフンに旗を立てる活動をしていましたが、よいアイデアだと思いました。

12月18日(水) 卯ノ里コミュニティセンター

参加者 地区役員の高齢化が進み、行事を開催する負担が大きいです。加えて、行事への参加者は少ないです。
町長 コミュニティの行事は、30年前の発足当初からほとんど変わりがありません。ニーズも変化していき、と思っていますので、行事の必要性を精査し、問題解決型にシフトしていく必要があると思います。

参加者 東浦町出身の務川慧悟さんが有名なピアノコンクールで優勝し、文化センターで凱旋コンサートが行われましたが、すぐに定



員がいつぱいになってしまいました。東浦町の規模にふさわしい500人程収容可能な常設のホールがあるといいと思います。

参加者 阿久比町は庁舎を建て替えるときに、併設のホールも一緒につくっています。そんなに遠くない未来に、ホール建設も可能ではないでしょうか。

町長 ホール建設については、住民の皆さんの手で、継続的に500人収容規模のホールの運営ができるのかどうか、検討していただいたうえで判断していくべきだと思います。役場の耐用年数が来た時には、役場を建て替えることになりますが、併設ホール建設については、住民の皆さんがどのような選択をされるかによるものと思います。

12月19日(木) 石浜コミュニティセンター

参加者 本日のような集会を行っても、参加者は同じような顔ぶれです。地区の役員はあまり変わっていないのだと実感します。石浜地区の役員の中には何年も同じ役を引き受けてくださる方もいらつしやいますので、上手く世代交代していくことができるかよいと思えます。また、地区の様々な行事を行うにあたり、中学・高校生への募集を募り、様々な年代の方が参加できる環境づくりを行っていくといいと思います。

町長 地区の役員は同じ顔ぶれという意見がありましたが、今日、高校生が参加してくれたように、核となるメンバーに加え、新しい顔ぶれが増えるといいと思います。役員を育てるには、まちづくりに関与したという実感の積み重ねが大切だと思います。高校生もまちづくりに関与できる当事者であり、一人の人間として権利が認められているということを知ってほしいです。



参加者 東浦町は、隣接する市町村と比較すると、歴史を感じる場所や、景観のよい場所が多く自慢できると思います。

他市町村の方を於大公園にお連れすると、きれいだと言ってくださいます。

町長 東浦町に住んでみるとよい部分に気づかないこともあります。東浦町に引っ越してきた方から意見を伺う機会があると、新しい発見があるのではと思います。

12月20日(金) 森岡コミュニティセンター

参加者 消防団に積極的に参加してほしいです。団員不足のため、古くからいる団員が抜けられなくなっています。

町長 消防団を一度経験

してみるのはいいことだと思います。義務ではなく、参加したくなる気持ちを地域で醸成していけるといいと思います。

参加者 外国の方のコミュニティについて、どのように考えていらつしやいますか。

町長 外国の方がコミュニティの行事に参加していただけることは少ないので、どうしたら参加していただけるのか、考えていく必要があると思います。現状では、日本語教室や外国語での体操教室が行われています。近年、ベトナムの方が増えていますが、ベトナムの方にコミュニティはないため、地域として関わりを持つていくべきだと思います。

